

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和元年8月1日同時配布

令和元年8月1日
国土技術政策総合研究所

木造住宅の劣化のしやすさと対策に関する報告会の動画を公開 ～雨水浸入や結露から我が家を守るための技術情報を住まい手などへ提供～

国総研は、木造住宅の耐久性を向上させるため、産学官の共同研究を5年間にわたり実施し、その成果を国総研資料 第975号として公表した後、研究概要を住まい手や実務者向けに分かり易く解説するため、報告会を開催致しました。

この内容をさらに広くお届けするために、報告会の動画を公開致しました。

1. 経緯

国総研では、木造住宅の劣化のしやすさとその対策を検討するため、2011年度から2015年度にかけて、大学、設計・施工・検査などの実務を担う検査機関、住宅供給団体、工事団体、材料生産団体（合計24機関）による共同研究を実施し、その成果を2017年に国総研資料 第975号「木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮の構造・仕様とその評価に関する研究」（1,867ページ）として公表致しました。さらに、その概要を判りやすくお伝えするために、2018年2月、共同研究成果報告会「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクを考える」を開催致しました。

2. 報告会動画の公開について

上記の共同研究成果報告会の後も多くの講演依頼を頂き、国総研職員による説明会を全国8箇所で実施して参りました。その後も引き続き依頼を戴くなど大きな反響がありましたので、木造住宅の耐久性に関する情報を住まい手や造り手に広くお届けするために、報告会の講演の動画を国総研のホームページにて公開することと致しました。

■報告会の動画および国総研資料第975号

動画：<http://www.nilim.go.jp/lab/hcg/kouen/videoall.mp4>

資料：<http://www.nilim.go.jp/lab/hcg/kokusouken-siryoku.htm>

検索キーワード：長持ち住宅ガイドライン

「長持ち住宅ガイドライン - 国土交通省 国土技術政策総合研究所」をお選び下さい。

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室

主任研究官 宮村雅史（内線4316）室長 喜々津仁密（内線4313）

Tel：029-864-4339 Fax：029-864-6774 E-mail：miyamura-m92ta@mlit.go.jp

木造住宅の耐久性につきましては、2000年、住宅の品質確保の促進、住宅購入者等の利益の保護、住宅に係る紛争の迅速かつ適正な解決などを目的とした「住宅の品質確保の促進等に関する法律」(略称:住宅品確法)を施行し、新築住宅の取得契約における瑕疵担保責任期間の10年の義務化、住宅性能表示制度(任意)などを制定しました。また、2009年には、新築住宅を供給する事業者に対して瑕疵の補修等が確実に行われるよう、保険や供託などを義務付けた「住宅瑕疵担保履行法」を施行しております。

これらの法令により、引渡し後10年以内に瑕疵が発覚した場合は、住まい手が保護される仕組みが整えられました。しかし、住宅瑕疵担保責任保険法人の報告によると、新築住宅の瑕疵事故のうち、9割以上が雨漏りであることが報告されており、依然として、雨仕舞いや防水対策が十分ではない場合があることが分かります。

このような背景を踏まえ、木造住宅の耐久性を向上させるため、次頁に示す産学官24機関が共同研究に参加し、5年間にわたり、調査・実験・シミュレーション、実績・経験などを基にして、建物外皮の構造・仕様とその評価に関する知見を集約しました。

その結果を[国総研資料第975号](#)として、「住まい手向け」と「造り手向け」のガイドラインをまとめました。本日は、その概要についてご紹介致します。

これは、造り手にとっては、各種の劣化リスク、不具合・劣化事例、推奨する設計・施工方法に関する技術資料となり、住まい手には、住宅選びに欠かせない技術情報源となります。本ガイドラインが有効に活用されることにより不具合事象が適切に防止され、木造住宅の耐久性が大幅に向上することを期待致します。

報告会プログラム（2018年2月15日開催済み）

司会進行：井上照郷（NPO法人 湿式仕上技術センター 事務局長）

- 12：00～ 開場
- 13：00～13：10 [開会挨拶](#)（約4分30秒、54MB）
福山洋（国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部長）
- 13：10～13：35 [共同研究の全体概要](#)（約32分、383MB）
石川廣三（共同研究委員長、東海大学 名誉教授）
- 13：35～14：15 [住まい手に向けた長持ち住宅実現のガイドライン](#)（約39分、465MB）
宮村雅史（国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官）
- 14：15～14：55 [木造住宅の水分に起因する劣化リスクの分析と評価](#)（約40分、478MB）
齋藤宏昭（足利工業大学 教授）
- 14：55～15：10 休憩
- 15：10～15：50 [屋根および外壁の設計・施工に起因するリスク・不具合と耐久性評価](#)（約40分、480MB）
梅田泰成（日本木造住宅産業協会 技術委員会委員）
- 15：50～16：30 [木造住宅の屋根および外壁の設計・施工ガイドライン](#)（約41分30秒、494MB）
輿石直幸（早稲田大学 教授）
- 16：30～16：45 [総括](#)（約22分、261MB）
中島正夫（関東学院大学 教授）
- 閉会

[報告会全体](#)
約3時間40分、2GB

アンダーライン部分は、動画とリンクしています。